

# Japan Applications and Customer Experience Strategies (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

国内ソフトウェア市場は、第3のプラットフォーム、デジタルトランスフォーメーションの台頭によって、目覚ましく変化しています。Japan Applications and Customer Experience Strategies (Japanese Version)では、国内ソフトウェア市場の中でも変化の大きいアプリケーション市場（フロントエンドアプリケーション、バックエンドアプリケーション）、ユニファイドコミュニケーション、コラボレーティブワークスペースおよび顧客エクスペリエンス（CX）に関するさまざまな分野について、市場動向分析、予測、競合状況などを提供します。年間を通じ発行される調査報告書、プレゼンテーション資料、インクワイアリサービスは、同市場における市場機会の分析、競合分析、Go-to-Market Strategies (GMS) 戦略の策定、プロダクトマネジメントや開発、販促活動などに貢献できるように企画されています。2022年は顧客エンゲージメントを維持/強化する上で重要な顧客エクスペリエンスにおけるインテリジェンス、デジタルワークスペースにおける新規ソリューションについて動向調査の強化を行う予定です。

## Markets and Subjects Analyzed

- ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション市場
- 顧客エクスペリエンス (CX) 関連ソフトウェア市場
- コラボレーティブワークスペース市場
- CRM (Customer Relationship Management) 市場
- EA (Enterprise Applications) 市場
- その他電子サイン、キャプチャなどのアプリケーション市場

## Core Research

- 国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション市場予測
- 国内 CRM 市場予測
- 国内コラボレーティブワークスペース市場予測
- 国内 EA ソフトウェア市場予測
- 国内顧客エクスペリエンス関連ソフトウェア市場予測
- 国内アプリケーション市場 企業ユーザー調査
- IDC FutureScope: Worldwide Customer Experience 2022 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Applications and Customer Experience Strategies \(Japanese Version\)](#).

## Key Questions Answered

1. 国内アプリケーション市場のうち、成長市場はどの市場か？
2. 国内アプリケーション市場の成長要因/阻害要因は何か？
3. 企業ユーザーのアプリケーション利用動向は？
4. 働き方改革に即したアプリケーションは何か、利用動向は？
5. 顧客エクスペリエンスとは？関連 IT 市場の将来性は？
6. EA ソフトウェアの利用方法、成長領域は？

## Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います（アルファベット順、50 音順）。

CA Technologies、Criteo、IBM、NEC、NTT グループ、PTC、SAP、SAS、SCSK、アドビシステムズ、アパリア、アマゾン、沖電気工業、オービック、オラクル、グーグル、ジェネシス、シスコシステムズ、

オープンテキスト、シナジーマーケティング、スーパーストリーム、セールスフォース・ドットコム、ダッソーシステムズ、日立製作所、富士通、マイクロソフト、ワークスアプリケーションズ、その他